

いま、「中東和平」をどう捉えるか —パレスチナ／イスラエル問題の構図と展開—

2011年1月22日・23日(土・日)

* 公開・入場無料 *

京都大学吉田キャンパス本部構内総合研究2号館4階会議室(AA447)

第一日目: 1月22日(土) 14:00~18:00
「シオニズムの世界観とパレスチナ」

①「ユダヤ的かつ民主的国家」の起源・序説
—シオニストのパレスチナ／イスラエル紛争観をめぐって—
(鶴見太郎／日本学術振興会)

②中東和平をめぐる新たなパースペクティブ構築のための試論
—1920年代から1940年代に至るアメリカ・シオニスト運動における
「パレスチナ」をめぐる議論を通じて—
(池田有日子／京都大学)

③『ユダヤ人』への挑戦:『カナン運動』とシオニズム
(細田和江／中央大学)

第二日目: 1月23日(日) 10:00~16:00

「パレスチナ／イスラエルにおける土地と経済をめぐる政治」

①オスロ合意以後のエルサレムにおける
空間のコントロールをめぐるポリティクス
(飛奈裕美／京都大学)

②イスラエルにおける土地制度改革
—土地の「私有化」を巡る議論を中心に—
(吉年誠／一橋大学)

③パレスチナ西岸地区における中小零細企業実態調査報告の梗概
(岩浅紀久／ITエンジニアリング研究所)

*会場は、少々わかりづらいところにあります。百万遍の交差点近くの京都大学北門から入り、すぐ左手の建物が総合研究2号館(旧工学部4号館)です。その建物の北側入り口付近のエレベーターに乗って四階に行き、左側(東側)に曲がってください。

お問合せ先

NIHUプログラム・イスラーム地域研究 東京大学拠点

グループ2「中東政治の構造変動」事務局

連絡先メールアドレス: iaschuto@l.u-tokyo.ac.jp

電話番号: (03)5841-8953



【企画の趣旨】

アメリカを仲介とする中東和平交渉の枠組みが、パレスチナとイスラエルの双方に解決をもたらすものとして提示されてから約20年が経つ。その間、オスロ合意、キャンプ・デービッドII交渉、第二次インティファダなど様々な節目を迎えながら、その枠組み自体の適否が根本から問い直されたことはなかった。2010年にはファタハ側指導部とネタニヤフ政権の間で直接交渉が始まり、注目を集めたが、入植地問題をめぐる早々とした頓挫は、大半の予想を必ずしも裏切るものではなかった。和平交渉の枠組みがたびたび持ち上がり、その度に成果を生み出さず霧消してしまうのはなぜか。その理由を理解するためには、折々の政治的動向の分析だけでなく、問題を生み出した紛争構図の発端についての理解と、当事者間で直接に対立を生んでいる個々の事象の展開に注目する必要があるだろう。

本企画ではこれらの点について、多様な専門分野やアプローチで取り組む報告者による総合的な検討を試みる。新進気鋭の研究者を中心として、中東和平をめぐる分析上の枠組みに再検討を加え、その限界と今後の可能性について捉え直していきたい。和平交渉の陰でこれまで注目されることのなかった要素—在米ユダヤ人、イスラエルの中の反シオニスト、パレスチナの中小企業、土地制度改革など—に注目することで、長期的に影響を及ぼしうるこれらの存在の、紛争の中での位置づけを明らかにしていく。



1月22日(土) 14:00~18:00 「シオニズムの世界観とパレスチナ」

14:00~14:10 趣旨説明 長沢栄治(東京大学)

14:10~15:20 報告: 鶴見太郎(日本学術振興会)

「ユダヤ的かつ民主的国家」の起源・序説—シオニストのパレスチナ／イスラエル紛争観をめぐって」
コメンテーター: 西村木綿(日本学術振興会／京都大学大学院)

15:20~16:30 報告: 池田有日子(京都大学)

「中東和平をめぐる新たなパースペクティブ構築のための試論—1920年代から1940年代に至るアメリカ・シオニスト運動における「パレスチナ」をめぐる議論を通じて—」
コメンテーター: 役重善洋(京都大学大学院)

16:30~17:40 報告: 細田和江(中央大学)

「『ユダヤ人』への挑戦: 『カナン運動』とシオニズム」
コメンテーター: 菅瀬晶子(総合研究大学院大学)

17:40~18:00 総合コメント: 赤尾光春(大阪大学)

1月23日(日) 10:00~16:00 「パレスチナ／イスラエルにおける土地と経済をめぐる政治」

10:00~10:05 挨拶: 錦田愛子(東京外国語大学)

10:05~11:15 報告: 飛奈裕美(日本学術振興会)

「オスロ合意以後のエルサレムにおける空間のコントロールをめぐるポリティクス」
コメンテーター: 高岩伸任(一橋大学大学院)

11:15~12:25 報告: 吉年誠(一橋大学)

「イスラエルにおける土地制度改革—土地の「私有化」を巡る議論を中心に—」
コメンテーター: 今野泰三

12:25~13:30 昼食休憩

13:30~14:40 報告: 岩浅紀久(ITエンジニアリング研究所)

「パレスチナ西岸地区における中小零細企業実態調査報告の梗概」
コメンテーター: 鈴木啓之(東京大学大学院)

14:40~15:10 総合コメント: 錦田愛子

15:10~15:40 総合議論

15:40~16:00 総括: 臼杵陽(日本女子大学)



主催: 人間文化研究機構(NIHU)プログラム「イスラーム地域研究」東京大学拠点

共催: 地域研究コンソーシアム(次世代支援プログラム)

京都大学イスラーム地域研究センター(人間文化研究機構(NIHU)プログラム「イスラーム地域研究」京都大学拠点)

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 基幹研究「中東・イスラーム圏における人間移動と多元的社會編成」